



堀口 達也議員

Q G I G Aスクール端末更新の
予算額は

A 端末更新に約5.6億円。
その他、総額約14億円



その他の質問

- ・緊急通報システムの条件緩和はできないか
- ・アクティブラーニング教室の効果の検証は
- ・e-スポーツの取組への展望は

Q G I G Aスクール端末更新の予算額は。

A 端末更新費用は児童生徒用と予備機の約1万台で約5.6億円。内、国庫補助金で約3.7億円、残り約1.9億円は市の一般財源。他に校務用端末、校務支援システム、授業支援ソフト、ネットワーク更新等が必要で総額約14億円。財源は市の一般財源を予定しリース導入で支出の平準化を検討中。

Q 学力向上や非認知能力の評価、方針は。

A I C T活用と学力の関係については、今後も検証が必要だが、全国学力学習状況調査結果からI C T活用率の高い学校は国語科「情報の扱い方に関する事項」の正答率が向上。また東中学校コンピュータ部ではマイクラフト活動を通じ、思考力やチームワークなど非認知能力が向上。課題設定・解決型の学習が重要であるため、今後も、I C Tやアクティブラーニング教室を活用し学力と非認知能力の向上を図る方針。



正田 菜穂子議員

Q 彦根市のジェネリック医薬品切替率、
特定健診受診率を向上させるには

A ジェネリック医薬品切替率は高いが
特定健診受診率は改善の余地がある



その他の質問

- ・教育現場の働き方改革について
- ・男性教員の育休取得について
- ・I C Tの活用について

Q 令和6年10月より始まった医薬品の自己負担の新たな仕組みとは。

A ジェネリック医薬品がある医薬品について、患者が希望して先発医薬品を処方された場合にジェネリック医薬品と先発医薬品との差額分については患者負担とする仕組みである。

Q ジェネリック医薬品への切替率は。

A 目標を80%以上としているところ、令和6年3月診療分で本市では80.3%であり、今後もこの水準を維持すべく取組を行っていく。

Q 本市における特定健診の受診率および特定健診で異常が出た際の医療機関受診率は。

A 特定健診受診率は目標を60%以上としており、令和5年度は43.3%と、過去最高だが目標には届いていない。また、医療機関受診率は令和5年度では31.1%と低く、これらの数値を向上させるべく取組を行っていく。



▲ご存知ですか？ジェネリック医薬品

個人質問



中川 睦子議員

Q 市立病院では退職者やMRIの導入で仕事量が増えているが人員の確保はできているか

A 所属部署の意見を聞き、人員配置等の調整を行い、確保はできている



その他の質問

- ・公共施設のあり方について
- ・ふれあいの館閉館後の扱いは
- ・12月6日「彦根市の財政説明会」について

Q 院内の配置基準は。

A 病院事業全体で615人と定められ、現在の正規職員は医師部門65人、看護部門368人、医療技術部門118人、事務部門47人で合計598人。

Q 退職者や機材の導入で仕事量が増えているが人員の確保は。

A 所属部署の意見を聞き、会計年度任用職員や派遣職員を採用し、MRI等の新たな医療機器の導入では、職員に過度の業務負担がないよう、業務量や時間外勤務の状況等を確認し、人員配置等の調整を行っており、人員の確保はできている。

Q 退職や中途退職者の人数と理由は。

A 育児休業等の退職は看護師25人、医療技術職6人、事務職3人。退職は看護師12人、医師・医療技術職各1人で、看護師等の退職理由は、結婚や子育て、親の介護が多い。

Q 職員が長く働ける環境にすべきでは。

A 今後はワーク・ライフ・バランスの推進と医療人材の確保と定着に努める。



▲彦根市立病院



角井 英明議員

Q 稲枝東幼稚園をなぜ閉園にするのか

A 10人未満は集団保育に適さないとの意見で決定



その他の質問

- ・ICT教育について
- ・新ごみ処理施設の処理方式について

Q 10人未満は集団保育に適さないという客観的な根拠があるのか。

A 客観的な根拠はないが、少人数だと集団生活のルール等が教えにくく、人間関係が固定化され友達を作る機会が減り、学校等の社会的な場面に適応しにくいということが公立園長会で話し合われ決定した。

Q 閉園について地域の声を聞いたか。

A 稲枝学区では、多くの世帯が保育所やこども園の利用を希望し、幼稚園希望が減っており、現在利用している保護者の声が最も参考になると考え、保護者に知らせた。

Q 令和5年の総合教育会議で稲枝学区の小学校統廃合が議論され、教育委員会等が決めるのではなく、地域の声を優先し慎重に検討することになったが、簡単に進めすぎでは。

A 地域の声として子育て世代の声を聞くことが一番と考えた。





和田 一繁議員

Q 彦根市俳遊館の施設に関して進展があったのか

A 俳遊館としては廃止の上、建物を残さない方向で検討を行っている



その他の質問

- ・彦根市観光案内所について
- ・京橋口駐車場前休憩場所について
- ・彦根城内の鐘の丸売店について



▲解体の方向で検討される俳遊館

Q 彦根市俳遊館の施設に関して進展があったのか。

A 施設の老朽化が激しく隣地への危険性も伴っていることから、早急に対処することが必要である。本市の厳しい財政状況の中、多額の投資を行うことは難しく、また投資分の費用回収が見込める施設ではないことから、俳遊館としては廃止の上、建物を残さない方向で検討を行っている。

Q 現在の彦根市俳遊館の建物の状態は。

A 彦根市俳遊館は、令和元年度の耐震診断の結果、耐震性に問題があることが明らかになり令和2年1月から閉鎖している。現在の建物の状態については、雨漏れによる腐朽やシロアリ等による木材の欠損等、建物内部の劣化が見られるほか、外装材の部分剥離も確認している。



辻 真理子議員

Q 市立病院MRI更新のクラウドファンディングの成果は

A 患者さんやその家族など、616件もの幅広い支援をいただいた



その他の質問

- ・公営企業の基準内繰入について

Q クラウドファンディングの目的は。

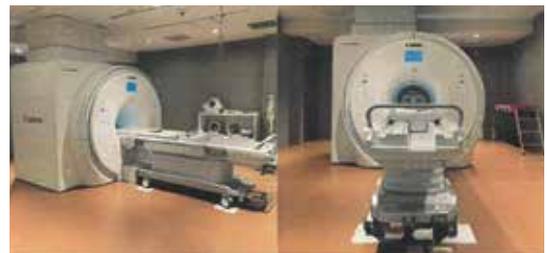
A 市立病院のMRI検査は件数が増加し、外来患者の予約が数か月先になる状況が続いていたため、令和6年度4月から新たな3.0テスラのMRIを追加配置し、現在は2台で稼働している。老朽化している1.5テスラのMRI更新を目的としたクラウドファンディングを実施した。

Q MRIの2台体制が必要か。

A 湖東地域の二次救急を担う役割を果たし、必要な検査ニーズに応えるため、MRI 3.0テスラと1.5テスラの2台体制が必要である。

Q どのような方がクラウドファンディングに協力されたのか。

A 患者さんやその家族、地域の企業、診療所、各団体の方など、616件もの幅広い支援をいただいた。心から御礼申し上げます。



▲MRI 3.0テスラ（彦根市立病院HP）